

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	2	コロナウィルスによる影響で校区の行事や施設でのイベントが中止・延期になっており、地域との交流が出来ていない。	コロナが落ち着き地域の行事が再開されれば積極的に参加していく。また、施設でも家族や地域の方を招待して食事会などを実施していく。	町内会や他施設と情報交換をしながら、地域や他施設の行事に参加出来るようにしていく。また、GHでも家族や地域の方を招待して食事会などを企画する。	12 か月	
2	4	運営推進会議がコロナウィルスの影響で中止・延期になった時の状況報告の送付までは行っていなかった。	運営推進会議が中止・延期となった場合でも、状況報告書を作成し送付することでサービス状況や取り組みについて知って頂く。	2ヶ月に1回は運営推進会議議事録の送付を行う。また運営推進会議が中止・延期となった時は入居者の状況、活動内容、事故報告などの状況報告書を作成、また勉強会の資料などを添付し送付する。	12 か月	
3	10	家族より、新たに入職したスタッフの情報を知りたいとの意見を頂いた。	スタッフの人数や配置状況を知って頂く。	スタッフの入退職の情報を毎月のお便りに盛り込んでいく。	12 か月	
4	14	人権教育・啓発活動への取り組みについてもっと理解を深める。	特に権利擁護・成年後見制度について学び理解を深める。	機会があれば積極的に行政主催の研修など外部の研修に参加できるように準備を進めていく。	12 か月	
5	28	ケアプランを見直す際の担当者会議のカンファレンスシートが作成されていない。	カンファレンスシートを作成する事で、家族や主治医からの意見も反映されたケアプラン作成の過程が分かるようにする。	ケアマネと担当者が中心となってカンファレンスを行い、記録は施設で使用しているソフトを利用する。家族や主治医がカンファレンスに参加出来ない時は電話や書面で聞き取りを行う。	12 か月	
6	35	入居者の終末期対応をした際のスタッフに対するメンタルヘルスケアが不十分である。	終末期対応に関わったスタッフの健康を心身共に整える。	法人や外部でメンタルヘルスケアについての研修があれば積極的に参加していく。また、法人内の相談窓口を活用していく。	12 か月	
7	37	災害時の対策に関して、同敷地内の病院・老健との協力体制が不十分である。	同敷地内の病院・老健と災害時の協力体制を築く。	病院・老健に対して災害時の対応や連絡方法などについて、随時情報共有を行い協力体制を構築していく。	12 か月	

## サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		( ↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他( )